CloudFrontのキャッシュ

【2019年最終回!】Firebaseハンズオン- 1時間で 作れる!ファイル共有サービス編- LT枠

いんとろでゆーす

- ・ハンドルネーム: あいおん
- ・仕事:都内にて金融系ユーザ系子会社で働いています。
- 分野:OSやらMWなどインフラ周りがメインです。
- ・最近:Switchのリングフィットアドベンチャーが来ました。体が痛いです。
- ・宣伝:インフラ周りの同人誌を書いているので興味あれば声かけてください。(ダイマ)



はつかそん

- 社内イベントでハッカソンがあり、それに参加しました
- ・ハッカソン=hack + marathonで、モノづくりのイベントです。
- 普段はインフラばかりやっているので、アプリケーション寄りのことをしようと思い参加。
- ・あと去年同様のイベントがあったのですが、自分はほぼ見ているだけだったので、今年こそは自分で何かを 作ったといえるものを作りたいと思ったのも理由のうちの一つです。
- ・テーマは「クラウドを活用してイケてるサービスをつくる」でした。



さんか

- ・期間は11/1~11/26の1か月ぐらい。(実際はその前にクラウドサービスの紹介があったりするという手厚さ。)
- ・とりあえず同期を誘って参加しました。
- ・同期だったので言いたいことを気兼ねなく言える反面、"言い過ぎてしまう"こともよくあり、いい面も悪い面もありました。
- ・色々話した結果、「資格取得支援サービス」を作ることになりました。



つくったもの

- ・すでに社内に勉強会共有サイト(connpassみたいなやつ)がありそれが3文字だったので、なぞらえて3文字で「Apollo」と名付け、サービス開発を行いました。
- ・機能は「目標管理」「SNS機能」「他システム連携」ぐらいです。
- 「目標設定」: 社内の人の取得傾向を参考に目標設定、および実績登録が行えます。
- •「SNS機能」:スレッド形式(某Oちゃねる)、および合格体験記
- •「他システム連携」: 勉強会共有サイトから関連のあるものをピックアップして通知



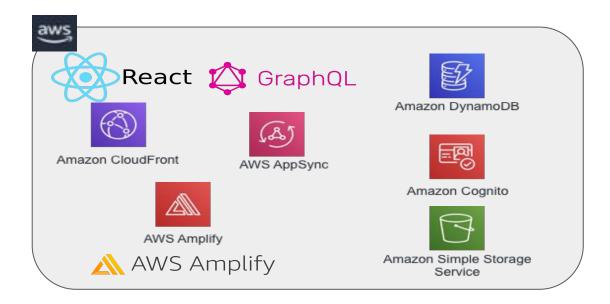
しすてむ こうせいず

- ・AWSにおんぶにだっこ構成です。
- 基本はAmplifyを使いました。
- ・一般的なSPAで、PWAです。



Users





しっぱい



- ・今回の失敗ポイントはタイトルの通り「Amazon CloudFront」です。
- ・システム構成図の通り、フロント側は直接3へアクセスさせるのではなく、CDNとして、CloudFrontを利用しています。これによって、S3へのアクセスを抑えたり、アクセススピードを向上させる予定でした。(採用理由の本当のところは少しでも多くの技術を採用したかったからです。)
- ・ハッカソンの評価方式は社員への一般投票と、社内のR&D部門による技術審査の二つでした。
- ・技術審査の観点は、書いたコードの難易度や完成度、技術的要素数等がありました。



きゃつしゅ





- ・というわけですごい頑張って前日とか徹夜したりとかしてやりました。
- ・で当日を迎え審査を受けたのですが前日つくった機能がまったく動きませんでした。(´;ω;`)ウッ...
- ・後でよくよく見てみると、キャッシュが有効になっていて、直前までやった内容が反映されていませんでした。 (S3にはアップロードできていたので、そこからの反映がされていなかった。もっと言うと、開発者側は直接3を見ていたので、いけていたと思っていた。)
- ・CloudFrontにはキャッシュ削除機能があるので、こういう時には、\$3へのリリース後きちんとキャッシュをクリアしておきましょう。

きょうくん

- キャッシュは怖い。
- ->新規リリースをしたときにクライアント側にキャッシュが残っていて反映されていない、なんてことはよくある話ですね。ただし、やみくもにキャッシュを無効にするとサーバ側に負荷がかかりますし、、、用法容量を守って正しくキャッシュは使いましょう。(ただし、要注意ポイントであることには変わりはないです。このトラブルにピンときたら110番)
- ・よくわからないうちに技術を採用しない。
- ->クラウドサービスが便利になりすぎているのですが、きちんと内容を理解してから本番リリースしましょう。 ちょっと使ってみる、というのができるようになって本当にメリットは大きいのですが、知らずのうちに地雷を踏んでしまうことも増えると思います。本番以外のところでいろいろなことに触れて知識と経験は身につけましょう!!

